

献血のお願い

11月18日(月)

10:00~11:00 / 12:15~16:00

六本木ヒルズアリーナ (テレビ朝日様社屋前)



【主催】公益社団法人 麻布法人会
【協力】六本木ヒルズ

献血の参加基準

種類	400mL献血	200mL献血(※2)
年齢(※)	男性：17~69歳(※1) 女性：18~69歳(※1)	16~69歳(※1)
体重	男女とも50kg以上	男性：45kg以上 女性：40kg以上

※1：65歳以上の方の献血については、健康を考慮し、60~64歳の間に献血経験がある方に限らせていただきます。
※2：200mL献血については、当日必要な分が確保できた際に、受付を終了する場合があります。

ご参加前の確認事項

下記該当項目がある方は参加をご遠慮いただいております。ご不明な点は受付職員までお尋ねくださいませ。

- ① 3日以内に薬を飲まれている方 (当日服用していても大丈夫な薬もあります)
- ② 3日以内に歯科治療された方 (歯石除去含む)
- ③ 直近のお食事を2食以上摂られていない方、睡眠時間が4時間以内の方
- ④ 海外からご帰国後4週間以内の方
- ⑤ 1980年以降、欧州・サウジアラビアに一定期間滞在された方
- ⑥ 1980年~1996年まで31日以上英国にご滞在歴のある方
- ⑦ 臓器移植・輸血歴のある方、ヒト由来プラセンタ注射薬の使用経験がある方

★当日服用でも献血OKのお薬★

- 尿酸値を下げる薬
- 血圧を下げる薬
- 高脂血症薬
- 花粉症の薬

※風邪薬、痛み止めなどは当日不可です※

200mL献血について

日本赤十字社では、輸血を受ける患者さんの副作用リスクの低い
400mL献血をお願いしています。

医療機関からの血液製剤の要請の95%は400mL献血由来となっているため、
200mL献血については、必要分確保でき次第、受付を終了します。



患者さんに800mLの輸血をする場合、
200mL献血×4人分より、
400mL献血×2人分の方が、
患者さんの副作用リスクが下がる、
ということが理由です。

* 献血にご協力いただいている皆様に知っていただきたいこと *

Q.なぜ、献血が必要なのか？

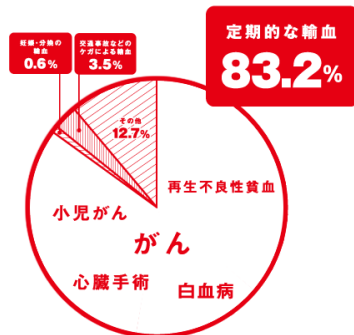
献血した血液の80%以上は、
ガンや白血病の治療のために**毎日**使われているからです。

輸血を必要とする患者さんは、**1日平均約3,000人**。
そのために必要な献血者数は、**1日あたり13,000人**。

輸血用血液製剤は、がんや白血病、再生不良性貧血などの治療のために、定期的に輸血を必要とする患者さんにその大部分が使用されています。(1日平均約3000人)
日本では、輸血用血液製剤は、すべて皆様からの『**献血=ボランティア**』で成り立っています。
皆様お一人お一人の善意によって、患者さんは救われています。

現在、日本人の**2人に1人はガンにかかる**と言われてています。
いつか、ご自身や身近な方がガンの治療で輸血を必要とする時が来るかもしれません。

『**献血**』も『**輸血**』も、決して他人事ではないのです。

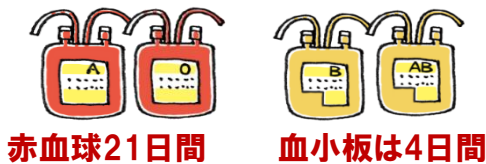


Q.日本赤十字社が、いつも献血をお願いしているのは、なぜ？

血液は、
人工的に造ることができない



血液は、
長期保存ができない



近年IPS細胞の研究が進み、再生医療のために重要な役割を果たすと期待されていますが、血液の機能を完全に代替える手段は現在のところ、まだありません。
今も、そして今後しばらくの間も、輸血を必要とする患者さんのための献血は欠かすことができません。
さらには長期間保存することもできないため、日々安定的な献血協力が必要なのです。

一人の方が1年間に献血できる回数に限りがある



男性

400mL献血は、1年間に**3回**以内。
次の400mL献血まで、
『**12週間**』間隔を空ける必要あり。



女性

400mL献血は、1年間に**2回**以内。
次の400mL献血まで、
『**16週間**』間隔を空ける必要あり。

お一人が1年間に献血できる回数には限りがあります。そのため、より多くの方にご参加いただきたいのです。
※現在、病院からの要請の9割以上が400mL献血由来の血液製剤です。男性17歳～、女性18歳～、体重50kg以上の基準に合う方には400mL献血をお願いします。
200mL献血は、各献血会場において必要分が確保でき次第受付を終了させていただきます。

病気と闘う患者さんを救うことができるのは、お読みいただいている皆様です。